

げっかん

ほんはともだち



2025ねん 10がつごう (no. 276) **やすとしょかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファックス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

10月5日, 12日, 19日, 26日 (日)

場所: おはなしコーナー 10時30分~

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

★ちっちゃなおはなしの森

10月9日 (木) 11時~

場所: おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

10月23日 (木) 11時~

場所: 中主分館

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

10月のとしょかんカレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5 おはなしの森	6	7	8	9 ちっちゃなおはなしの森	10	11
12 おはなしの森	13	14	15	16	17	18
19 おはなしの森	20	21	22	23 ちっちゃなおはなしの森 in 中主	24	25
26 おはなしの森	27	28	29	30	31	

※ 〇の日はお休み

『うさぎかぶしきがいしゃ』

ふくながじゅんぺい/作 (こぐま社) E/4冊

夜のおわり、月が森のなかにし
ずかに着陸し、月のなかから
うさぎのパロットがおりてき
ました。じつは月を空へとばし
ているのは、「うさぎかぶしき
がいしゃ」のうさぎたちだっ
たのです。



『まよなかのかくれんぼ』

ケイティー・メイ・グリーン/文 石津ちひろ/訳
(ほるぷ出版) E/3冊

あるおやしきのこども部屋。
べにかざった絵の中に、こども
たちがくらしていました。
月のきれいな夜、ふたごがいな
くなり、さあ大変! さがさなくちゃ!



あたらしくはいったほん

『スタートライン』

本田有明/作 酒井以/絵 (金の星社) K913/1冊

親友の水木君といっしょに、なんと
陸上を始めたばく。自分にあつた
走り方がわかってくと陸上が楽し
くなってきた。そんななか、駅伝大会
の選考会に参加することになり、水木
君と勝負することに…。



『どくのあるいきもの』

船山信次/指導 (フレーベル館) K481

にんげんの体にはわるいはたらき
をする“どく”。そんな“どく”
をもつ、生きものはじつはまわり
にもたくさんいます。この本には
いろんな“どく”から身を守る方
法がのっています。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます。

『ずんずんばたばたおるすばん』 ねじめ正一/文

降矢なな/絵 (福音館書店) E/ス

かあさんがかいものにでかけたたん、てんじょうから子ザルたちがつぎつぎにきて、くつみがきをはじめた。おいしいではナマケモノがふとんにもぐりこんでいるし、だいどころでは、ペンギンがれいぞうこをあけてすずんでいる。そして、さらにー。



『るすばんおばけ』 K913/74 (佼成出版社)

舟崎克彦/作 西川おさむ/絵

ぼくはおばけ。よるのおるすばんははじめて。家中のあかりをつけてもなんだかうす暗い気がする。トイレにいくと、鏡の中からもうひとりの「ぼく」が「そちへいってやろうか」と話しかけてきた。そして鏡のふちをまたいでこっちに出てきたんだ。



『ふたりでおるすばん』 いとうひろし/作

(徳間書店) K913/11

あたしは世界一のおねえちゃん。なのに弟はうるさくてきたなくていやになる、と思っていたら、ふたりでおるすばんをすることになってしまった！いつもあたしを困らせる弟を「これからはふたりだけで生きていくのよ」とおどかして楽しんでいたら・・・。



『ティナのおるすばん』 伊・ナ・コルシュ/74/作 石川素子/訳

矢島真澄/絵 (徳間書店) K943/31

きょうはおかあさんが夜おそくにかえるまでひとり。はじめてのおるすばんを楽しみにしてたのに、朝のしたくが遅れて学校に遅刻するし、ともだちとはけんかしてしまうし、おまけに家のかぎを忘れてしまって、家の中にはいれません。どうしたらいいのでしょう。



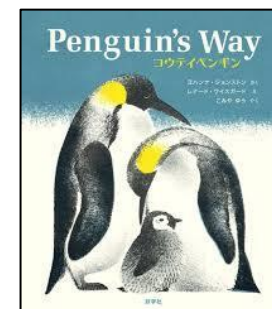
それとも
たいへんな

すてきな おるすばん

『コウテイペンギン』 ヨハナ・ジョンストン/作

ケート・ワイスガード/絵 こみやゆう/訳 (好学社) K488

コウテイペンギンのおとうさんはおかあさんペンギンから卵をうけとって足の上のうへにのせます。おかあさんとはおい海までえさをとりにいくのです。2か月にもなるながいながいおるすばんの間、おとうさんは何もたべず、氷の大地に立って卵をあたため続けるのです。



『おかしなおきやくさま』 E/材 (学研プラス)

ペ・ク・ヒナ/作 中川ひろたか/訳

ある雨の日おねえちゃんとおるすばんしていたら、かわった男の子がやってきた。雲にのって空からきたのだった。まいごになったみたい。ぼくたちはもてなそうとしたけど、男の子の気分はころころかわるし、家の中はたいへんなことに。



『うさぎのおるすばん』 イ・ホク/作 黒田福美/訳

(平凡社) E/74

うちの人たちがみんなでかけた日。うさぎがまどをあけて、こっそりベランダからおへやにはいつてきたよ。まえからやってみたくて思っていたいろいろなことを、だれもいないおうちの中で、やってみるチャンス！



『マサの留守番 蓮見探偵事務所事件簿』

宮部みゆき/作 (講談社) K913/ミ

おれは元けいさつ犬のマサ。いまは探偵事務所の用心犬だ。言葉はしゃべれないが、得意の推理と鼻をいかして難事件を解決するぞ。事務所のみんなが旅行に出て留守番をすることになったとき、おかしい事件がおこったのだ。

